



# パキスタン 企業訪問調査レポート【2】

## Universal Chemical Industries(Pvt.)Ltd.

～ 化繊織物原料メーカー ～

### ■ パキスタン・イスラム共和国 — 基礎データ —

- 面積：796,096平方キロメートル
- 人口\*：約1億8,802万人（財務省「Economic Survey 2013/2014」）
- 首都：イスラマバード／人口\* 144.1万人（財務省「Economic Survey 2013/2014」）

\*：2014年 計画・開発・改革省による予測。パキスタンでは1998年にCensusを実施した後、10年以上も実施していないために、1998年以降は人口成長率を当てはめて推計人口を算出している。

- 名目GDP総額：2,338億 3,900万ドル（2013年）
- 実質GDP成長率：4.1%（2013年）
- 為替レート：1ドル ≒ 102.99 パキスタン ルピー（2013年 平均値）

出所：JETROホームページ 国・地域別情報（J-FILE）「パキスタン概況（2014年11月更新）」

- 1人当たりGNI：1,386ドル（2013/2014年度 パキスタン経済白書）

出所：外務省ホームページ パキスタン「基礎データ」（2014年7月4日）



■ 調査日：2014年 8月29日

■ 分野：化学繊維織物用原料・資材製造、配送

■ 沿革：1958年 会社設立（「織物柔軟剤」1品目でスタートし、次第に合成樹脂やポリエチレン乳剤、その他に事業を拡大）  
1969年 会社設立登記  
1984年 英国よりポリメリゼーションの一環プラントを導入し生産能力を年産8,000トンに拡張

### 企業概要

- 社名：Universal Chemical Industries(Pvt.)Ltd.
- 住所(本社)：Z-5, Manghopir Road, S.I.T.E, Karachi - 75700 Pakistan  
(カラチ シンド工業団地 S.I.T.E. 内)
- 工場：B-45 Estate Av, S.I.T.E., Karachi (カラチ シンド工業団地 S.I.T.E. 内)

■ 体制・拠点：〔国内事務所〕

ラホール：Taj Arcade, Second Floor, Room No. 19, 73 Jail Road, Lahore  
ファイサラバード：136 Regency Arcade, 949 Mall Road, Faisalabad

〔海外事務所〕

バングラデシュ：Ka-5/C Jagannathpur, Bashandara Road, Gulshan, Dhaka-1219  
U.A.E.：E-83 Ajman Free Zone, Ajman, U.A.E.

■ 設立年：1958年

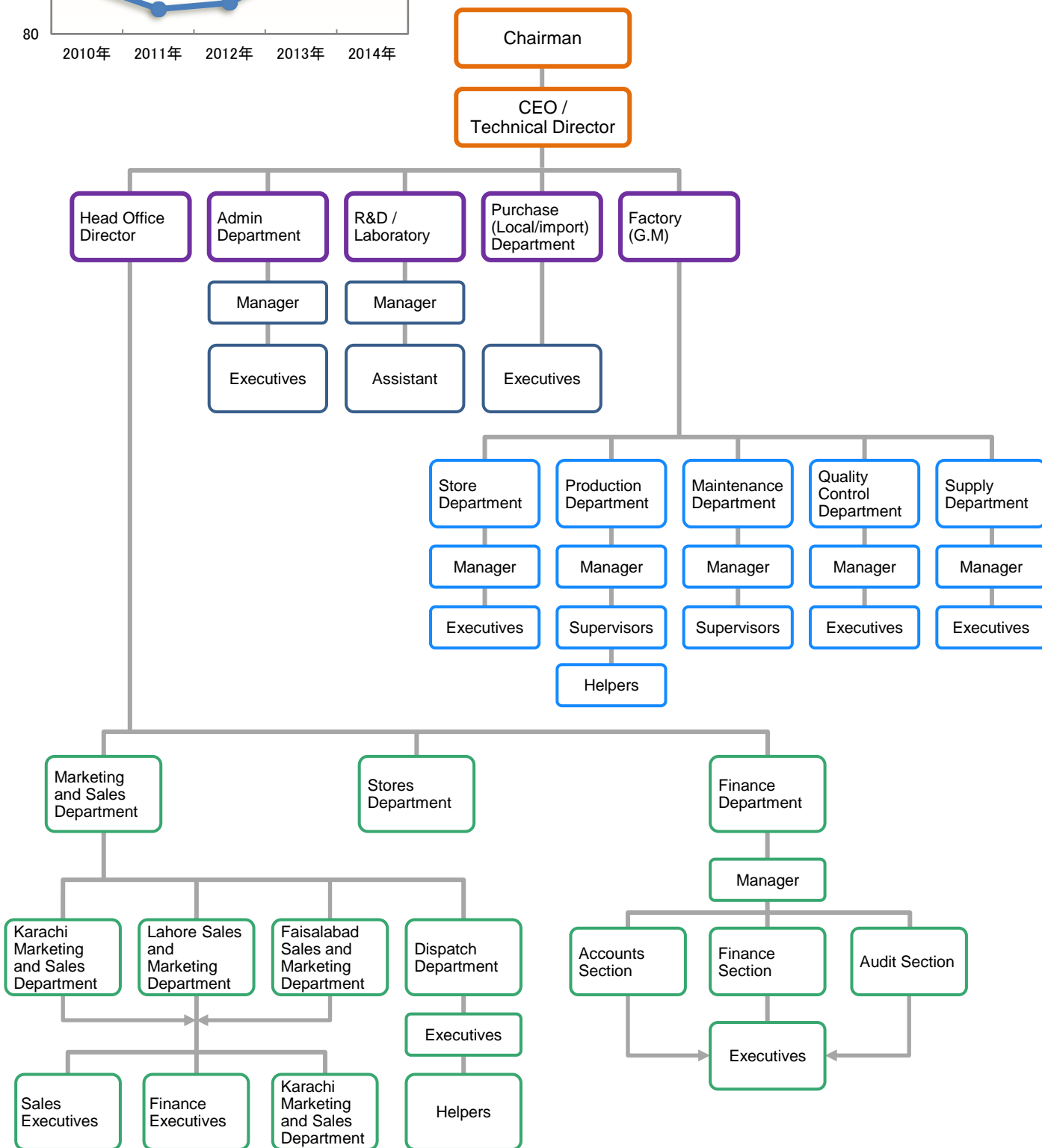
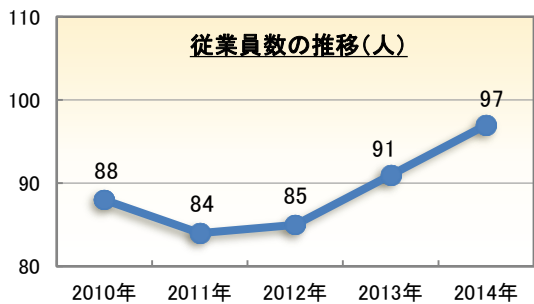
■ 従業員数：97人

■ 主要設備：英国製

■ 社是：多様な高品質の製品を製造しパキスタン国内外に提供することにより、パキスタン化繊原料業界をリードすると共に、出資者、顧客、従業員等全ての関係者の利益向上に努める。



本社正門



## ビジネスの概要 ①

## Universal Chemical Industries 社の製品

## ● Sizing Products

## サイジング剤

Bevaloid 4118 P

Bevaloid 4029 A

## ● Pretreatment Products

## 前処理剤

Desizer CX 300	Stabilizer U
Unilase LTL	Rematex A
Unilase LTX	Mercerizer OP
Uniscour DWE	Unidol AC
Neutraliser PK-B	Unicel DMA
Unidol AT	

## ● Dyeing, Printing and Washing Products

## 染色、プリント、および洗浄剤

Carrier P	Unicel WOR
Unilube-AC	Binder SB
Unisil Antifoam	Fixer D
Unidol LD	Unifix ZF

## ● Finishing Products

## 仕上げ剤

Finish 230	Unitack CT Bon
Magnasoft Emulsion	Unitack PT
Magnasoft Micro Emulsion	Unitack CTP
Polysoft L	Unisoft CS
Poly Soft XCL	Unisoft FT
Polyres H200	Unisil HTS
Unisil KCE	Unisoft CA
Uniwax PW	CS / Flake
Unifix MB	Unisoft CKB
Unifix G	Unisoft SIB
Unifix LFG	Unisoft SF
Unitack CT	



積まれた原料

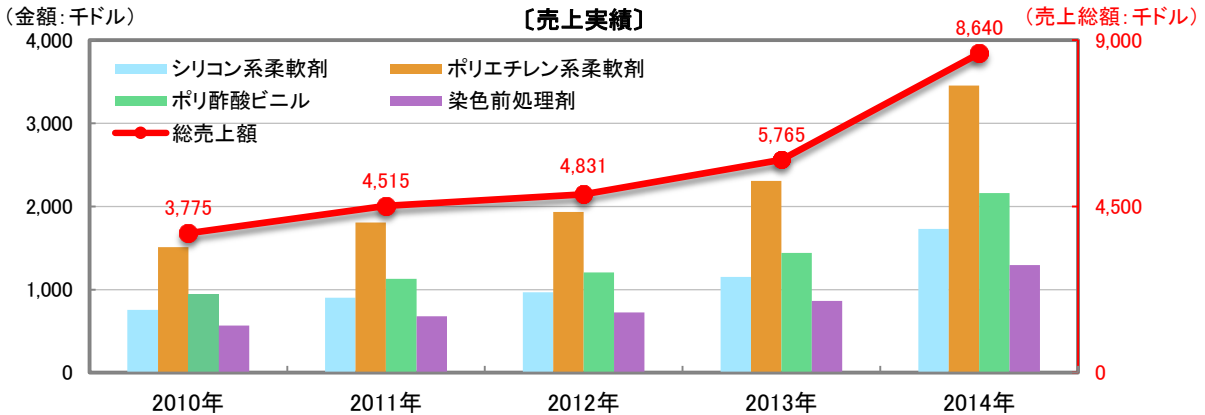
## 原料調達元

メーカー名	国	原料
Honeywell Belgium N.V.	ベルギー	AC-629 / AC-660
KCC Corporation	韓国	Kcc Silicon / SM1008P / SM1900P / SC3100Z
Changchun Chemicals Co.Ltd.	台湾	PVA BP26 / Acrylamide 98% Powder Sulphonic Acid 96% Soft
BASF South East Asia Pte.Ltd.	シンガポール	Lutensol A011/ Lutensol A03 Lutensol T015 / Sokolan CP5 Powder
Avantchem Pte.Ltd.	シンガポール	Acrylamide 50% Solution
Taewon Global Co.Ltd.	韓国	Methyl Nephthalene
P.T.Cisadane Raya Chemicals	インドネシア	Oleic Acid
Megachem Ltd.	シンガポール	Sodium Per Sulphate
Zhenjiang Lee Chand Yund General Chemical Co.Ltd	中国	Paraformaldehyde-92+/-1%
Kimya Resin Arak Chemical Ind. Co.	イラン	Diethylene Glycol(D.E.G)
Dalian Dyechem International Ltd.	イギリス	Isol Fixer R
Ionic Solutions Ltd.	中国	Glyoxal 40%
Alemdar Kimya Industries A.A.	トルコ	G.M.S
Dow Chemical Pacific Ltd.	国内	Vinyl Acetate Monomer
Pakistan State Oil Company Ltd.	国内	Vinyl Acetate Monomer
Welcome Agro Chemicals (Pvt.) Ltd.	国内	Vinyl Acetate Monomer
Nimir Industrial Chemicals Ltd.	国内	Stearic Acid

## ビジネスの概要 ②

## 売上推移

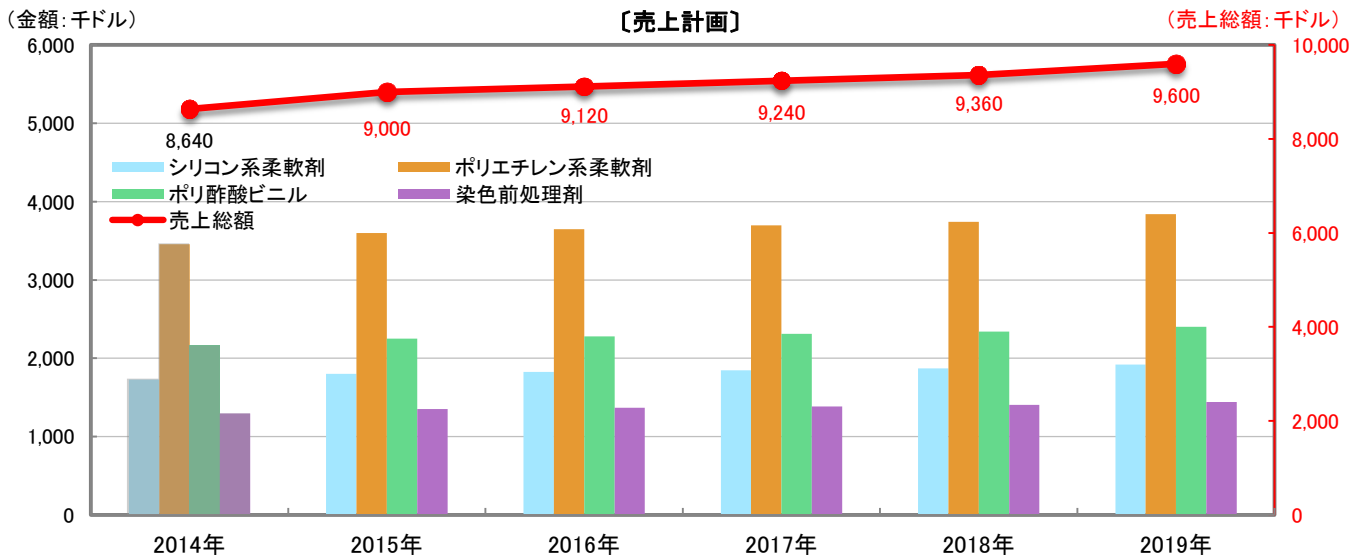
年	シリコン系 柔軟剤 (千ドル)	ポリエチレン系 柔軟剤 (千ドル)	ポリ酢酸ビニル (千ドル)	染色前処理剤 (千ドル)	売上総額 (千ドル)	売上総額 (千ルピー)
2010	755	1,510	944	566	3,775	377,441
2011	903	1,806	1,129	677	4,515	451,421
2012	966	1,932	1,207	724	4,831	482,971
2013	1,153	2,306	1,441	865	5,765	576,588
2014	1,728	3,456	2,160	1,296	8,640	864,000



## 今後の売り上げ目標

目標を達成するため、生産能力拡大のための投資を行うと共に、現在77%に留まっている稼働率を5年間で80%以上に引き上げるとしている。

年	シリコン系 柔軟剤 (千ドル)	ポリエチレン系 柔軟剤 (千ドル)	ポリ酢酸ビニル (千ドル)	染色前処理剤 (千ドル)	売上総額 (千ドル)	売上総額 (千ルピー)
2014	1,728	3,456	2,160	1,296	8,640	864,000
2015	1,800	3,600	2,250	1,350	9,000	900,000
2016	1,824	3,648	2,280	1,368	9,120	912,000
2017	1,848	3,696	2,310	1,386	9,240	924,000
2018	1,872	3,744	2,340	1,404	9,360	936,000
2019	1,920	3,840	2,400	1,440	9,600	960,000



## ビジネスの概要 ③

### マーケティング戦略：国内の化学繊維産業市場

パキスタン国内でも化繊織物用原料の市場規模は大きく、同社製品に対する需要は高い。また、国内における同社製品の価格は、競合他社に比べ50%程度安い。これは、競合他社がすべて外国籍の企業であるため。外国籍企業の製品は、国外周辺の生産拠点で製造され、パキスタンへ向けて輸出されるため、もともとの高い単価に加えてさらに輸送コストが加算されている。同社製品は価格の面から今後、輸出の拡大も期待されている。

#### ● 市場におけるUniversal Chemical Industries社のシェア

正確なデータは入手できないが、経営陣は、同社の国内シェアを概ね5～6%程度と推定しており、大部分は国際企業が占めているとしている。

#### ● 競合他社

1. BASF(ドイツ)Pakistan Ltd.
2. Imperial Chemical Industry(イギリス)Pakistan Ltd.
3. Archroma(スイス)Pakistan Ltd.



イメージ

### マーケティング戦略：輸出

輸出は総売り上げの10%程度であり、国内販売より若干高めに価格設定している。輸出戦略としては、まず仕向け先国を広げて海外での製品プレゼンスを高め、輸出先国でのシェア拡大に結びつけるとしている。バングラデシュ、ベトナム、台湾、カンボジアが今後有望な相手国とみて、これらの国々への販路拡大と増産のための投資を計画中であり、将来的にはアフリカも視野に入りたいとしている。

### マーケティング戦略：広告・宣伝

Universal Chemical Industries社の製品は一般消費財ではなく中間原料であるため、顧客は低所得層向け製品を製造する、化学繊維織物業界の各企業(中小～大手企業)である。それらの企業を直接訪問し、幹部や技術者に製品説明を行うとともに、同社に招き製造工程等を見学してもらう戦略をとっている。

同社の技術部長A.Vohra氏は、業界において著名な人物で、シンド工業団地工業組合及び全国織物加工組合の会長であり、各種関連団体の役員を務めていることも、マーケティングを行ううえで有効に働いている。同社では、受注の最終責任者である会長とマーケティング・販売部長の下に21名の販売担当職員がおり、新規受注の獲得を担っている。また、業界向けや関連技術校向けの月刊誌も発行し、販売促進に努めている。

大手取引先企業名	最終商品
Al Karam Textiles	ファブリック
Gul Ahmed Textiles Ltd.	ファブリック
Colony Textile Mills Ltd	ファブリック
Crescent Textile Mills Ltd	ファブリック
Fateh Textile Mills Ltd	ファブリック
Gulistan Textile Mills Ltd.	ファブリック
Noon Textile Mills Ltd.	ファブリック



イメージ

JETRO



## ビジネスの概要 ④

### 工場内の様子



原料の投入(工場内2階)



反応設備(工場内2階)



反応設備(工場内2階)



反応設備(工場内1階)



製品の容器充填工程(工場内1階)



積まれた空の容器

### 品質管理

1995年に総合的品質管理(TQM)を導入。まず、経営陣に対する正しい企業カルチャーの教育からはじめ、次いで幹部職員にTQMの概念教育を行い、従業員全体に品質管理運動を広げていった。なお現在は、ISO9000:2000や環境マネジメント国際規格も取得している。

### 製品の配送

カラチ内の顧客には自社トラックで配送。カラチ以外は、各種の運送業者に委託し、ラホールやファイサラバード事務所の倉庫、あるいは直接顧客の工場へ各種サイズの容器に詰めて配送している。



配送用の自社トラック

### 倉庫

原料および完成品は、本社工場内の倉庫に保管している。製品は全て顧客からの注文に基づく生産のため、完成次第、顧客の工場等へ発送している。従って、本社工場や国内事務所の倉庫には空きスペースが多い。



完成品

JETRO

● Universal Chemical Industries社の強み

技術部長およびマーケティング・販売部長は織物工学の博士号を取得しており、その他幹部職員も化学や織物のエンジニアで構成されている。製品の品質に加え、これら幹部職員が業界内で広く知られており、業界各社とのコネクションを確立していることが、同社の強みである。また、カラチ工業団地内という好位置に立地していること、従業員の転職率が低いことも強みとなっている。



本社内化学研究室及び事務所棟



化学研究室内



● 課題

資金力不足から、現状ではまだ生産能力が低いことが挙げられる。同社は社の方針として、銀行からの借入れを一切行っていない。資金の調達は自社で賄うか、意欲のある企業と資本提携を行っている。



イメージ

● 今後の展望

パキстанは世界第5位の綿生産国であり、織物は主要産業の一つである。そうした同国内で、同社は化繊織物原料というニッチ業種であることに加え、化繊織物原料の老舗であることや品質管理、大手化繊織物メーカーとの良好な関係などが、Universal Chemical Industries社の今日を支えている。また、研究室や製造工程を顧客の要望に応じて開放し、自由に見学させていることも好感を呼んでいる。

同社の属する織物関連市場は、パキстанの人口増加率が1.8%と、世界人口の伸びの1.1%を上回ることから今後も拡大が見込まれる。また、海外においても需要が旺盛であることから、投資先として有望と思われる。具体的な内容は固まっていないものの、同社では設備拡張投資を計画中であり、経営陣は、どのラインにおいても投資資金を3~4年で回収できると見ている。

同社では設備拡張等の投資を自社財源で賄っており、銀行等からの借入れは考えていないものの、第三者企業との合併は受け入れを検討するとしている。



イメージ



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。